

渡部政盛先生新著 菊判最上製表本 全壹冊五百餘頁 參圓八拾錢 送料金廿四錢

日本教育學說の研究

我が國の教育學は今や全く行詰て仕舞つた。吾人は之を打開せねばならぬ。本書は斯くの如き貴き使命を帯びて公にされたものである。内容は諸論：第一章明治前半期の教育學說：第二章日本最近の教育學說：第三章個人的教育學說(谷本)第四章社會的教育學說(熊谷、樋口、吉田、田中、野田)：第五章調和的教育學說(大瀨、森岡、小西、溝淵)：第六章生活完成の教育學說(下田)：第七章文化的教育學說(乙竹)：第八章人格的教育學說(中島)：第九章實際的教育學說(澤柳)：第十章自動的教育學說(河野)：第十一章公民的教育學說(川本)：第十二章創造本位の教育學說(稻毛)：第十三章分團的教育學說(及川)：結論：の諸章より成つてをる。特色は諸家の學說の詳叙と忌憚なき批判とにあるは言ふまでもない。隨て學者先づ本書を讀むの義務があり。教育學者文檢受驗者は本書に依つて學者の說の要點と長短とを知る必要がある敢て弊館の大言以て江潮に本書を推薦する所以である。

文檢受驗者の最大福音

▲人間教育の意義を定立する上に新なる見解を與ふる書

江幡龜壽先生新著 (好評激甚) 一

三版 教育的生物學

四六版最上製美本 金貳圓 送料十二錢

生物學は地球生物群の成立發育の因由茲に其法則を明かにせんとする學である此の學に依らずんば人間の真相・人生の歸趣を知るを得ず。本書は生物學を専攻し教育の實際にはた行政に經驗ある著者が教育的見地より生物學を平易に講述せられしものにして實に國民必讀の書なり。從來の皮相空漠なる人間教育論に飽き真に生きさんが爲めの教育學を建設せんとする者はすべからく此の學を究めよ

人事界の一大進歩 國民必讀の要書

第一生物生活の二大象徴：第二生存意の具體的表現：第三原始生活より知的生活：第四生物學的國家觀：第五死と永生：第六卵より成體になるまで：第七遺傳と人生：第八生の闘争と人口論：第九生命の繼：第十人類の運命觀：第十一生物の系統史：附録生物學上より觀たる人間作成の力：(以上細目略す)

次目容内

『變態心理』主幹 文 學 士 中村古峽氏新著

第八版 變態心理の研究

—(四六判最上製美本全壹册五百頁)

正價金貳圓五拾錢 送料十二錢

本書は、變態心理學に造詣深く、且つ催眠實技に於て、殆んど入神の技能を有せる著者が、催眠現象を初め、潜在精神▽二重人格▽幽霊の出現▽狐狸の憑依を極む。著者は更に、多年の實驗中より、精神治療の實例十數種を詳細に報告し、就中二重人格者の施術法及夢の新實驗等は、全く著者の創意に屬す。教育家、宗教家、醫師、法曹家は勿論、一般家庭の父兄諸氏の必讀を望む。

我學界隨一の新著

▽透視念寫並に不良少年精神病者の心理等、諸種の變態心理現象を飽くまで、學術的且つ通俗的に説明したる、我學界唯一の新著にして、特に世上の山師が、心靈を名として、諸種の瞞著手段を行へることを素破抜きたる一章は、最も痛快を極む。著者は更に、多年の實驗中より、精神治療の實例十數種を詳細に報告し、就中二重人格者の施術法及夢の新實驗等は、全く著者の創意に屬す。教育家、宗教家、醫師、法曹家は勿論、一般家庭の父兄諸氏の必讀を望む。

早稻田大學講師 吉田絃二郎新著

好評 感想 心より心へ

四六判最上製美本 全壹册紙數五百頁 正價金 壹圓八拾錢 送料十二錢

「生とは？死とは？」恐らく私たちは現在に生きつゝありといふ悲しき有難き尊い意識の他に何もものを見出す事を得ないかも知れない。けれども私は今日自分の生きてゐる事の周囲の幾人かの可憐な人々ととりて慰藉であり、力であることを考へただけでも私の生活が無意義でないことを思ふ。たとへばつきりとした哲學は掴み得ないとしても私はそれだけの意味でも生きてゐなければならぬと思ふ。永却の時を通じてこの一刹那のみ相凭り相扶け合ふ事のできる、また感じ合ふ事のできる、人間の魂と人間の魂との隔れ合ひを除いてどこに生活があらう。(著者の感想より)

内容目次

ア、サア・シモンズ……心靈のそよぎ……環の葉……初秋の光り……藝術家と祈の心……秋の町より……下町住まひ……強く生さんがために……心の弱い青年……生活の底から……小樽雨の日……旅空から……心靈の扉を……秋の感謝……老乞食……人が人をさばく……迷ひ子……落葉の詩……秋は過ぎ行く……死の歩みが……何も望まない日……夜道を歩いてゐる夜……色な壁に……兄弟の語……上野の森のあたりを……父……秋の朝……或る男……或る夜……福さるべき罪人……木権の家……千年川のほとり……黄昏の空に……五月雨の日……或る夜……日を見る時……麗春花……夢の墓場……雨の音は悲し……ネラリヤ……森を歩めば……冬の時……ウラジオ更紗空……旅人は北より……カフエの窓……植木屋の死……星は飛ぶ……青き朝……五月雨の日……夜と青は……Tの墓……病みあがり……故郷の人……人生は嚴肅なり……森を歩めば……冬の時……ウラジオ更紗は……Tの墓……光りは過去の……故郷の人……人生は嚴肅なり……森を歩めば……冬の時……ウラジオ更紗な……Tの墓……光りは過去の……故郷の人……人生は嚴肅なり……森を歩めば……冬の時……ウラジオ更紗の内容……超人論……種子は地に横かれた……藝術の搖籃……

大 同 館 發 行 圖 書 目 錄

東京帝國大學 文學士 今井政吉氏新著 寫眞圖入

好評 三版 露西亞文明記 四六判最上製 美本五百頁 金貳圓五拾錢 送料十二錢

批評一斑 昔から露西亞は世界の隣であつたが、歐洲大戰勃發以來世界は更に一層多くの興味を以て同國を見るに至り、革命勃發後は更に愈々世界的興味焦點が同國に攝らるゝに至つた。そこで我が國は、隣國的關係を有する特殊の立場にあるだけ一層露西亞に對する興味を深く感ぜざるを得ない故に於てか露西亞研究は實に我が國操縦界の一大潮流となり來つてゐる。朝に夕に露西亞に關する記事の雜誌上新聞紙上我等の眼に觸れぬ日は無いといふ有様である。が遺憾なことには未だ會て讀みたる手頃の冊子にして露西亞の國風全體を描けるものが無かつたのに、茲に

解體せる露國の前途如何? 今井文學士の本書を得て其の淵を感やすを得たるは我等の心より欣幸とする所である。今井氏は數年間の露西亞に滞在して其社會狀態を具さに研究して此程歸朝せられたる士にして、其の記述する所一々實地の觀察に基けるものであれば安心して信頼することが出来る要するに、露西亞の國風社會狀態等全般に亘つて精細なる記述をせる點に本書の特色を見、露西亞に興味を有せる人士の逸すべからざる書であると共に各種學校の教授參考資料としても誠に有益なる著書である。

これ何人も知らんと欲する所也。

今井文學士の本書を得て其の淵を感やすを得たるは我等の心より欣幸とする所である。今井氏は數年間の露西亞に滞在して其社會狀態を具さに研究して此程歸朝せられたる士にして、其の記述する所一々實地の觀察に基けるものであれば安心して信頼することが出来る要するに、露西亞の國風社會狀態等全般に亘つて精細なる記述をせる點に本書の特色を見、露西亞に興味を有せる人士の逸すべからざる書であると共に各種學校の教授參考資料としても誠に有益なる著書である。

文學博士 尾上柴舟 尾上登良子女史新著 (系圖年表を附す)

忽三版 源氏物語大意 四六版最上製 美本五百餘頁 正金貳圓五拾錢 送料十八錢

類書中の白眉 文檢受驗者必讀書 國文の至寶と稱へられながらも其の文の古めかしくて語の曉り難きより讀み味ふに甚だ骨の折るゝ爲に世に敬遠されたるは光源氏の物語なり此の書は源氏の意を細かに噛みくだき俗に直して新しく現代の讀者の頭腦に容易に消化せしむる故に工夫したるもの大意とは云へ文情調勢語氣などもなるべく原本の儘を傳へんと苦心したるものなれば語中の男女の面影も覺せしめて人物情景の活動等原本を讀むに異ならず源氏物語の縮約として最も成功したるものなり。巻頭に挿入したる系圖並に年表は單に本書の参照として趣味あるのみならず一般源氏を讀むものにも亦當事の事蹟を知る爲めにも極めて有益なるものなり。

大谷光瑞氏講評・上田恭輔氏新著 (有益にして趣味)

新刊 國語中の梵語の研究 袖珍洋製 全壹册 金五拾錢 送料八錢

國語中の外來語は相當に澤山あるが特に著しきものは梵語である之れを數へたら澤山ある而かもこの多數の梵語が殆んど國語に同化して仕舞て一般國民は夢にも天竺より舶來せしものと誤附すには日常平氣で使用して居る今其の内の文學的乃至歴史的に興味あるもの三十語を選び讀者の讀物として提供したるものである大谷光瑞師の批評は前人未發のものです。(著者)

東京 大 同 館 發 行

◇早稻田大學教授 内ヶ崎作三郎序・工藤直太郎新著◇

新刊 人間文化の出發

四六版最上製
美本金壹圓
正價金貳圓
送料十二錢

〔内ヶ崎氏序して曰く〕……工藤君は早大英文學を修めた人であるが其趣味甚だ多方面に亘り哲學宗教文學に就て特異な理解と智識とを有してある少壯評論家中大に推獎すべき力量を備ふ。本書は同氏が多年の蘊蓄を傾倒したもので内容は數多の見地より縱横に新文化を解説し評論したもので隨に文化運動に對する一貢獻であり我が思想界に對する第一聲である。

〔内容〕人間文化の根本原理……文化發生の階段……人間愛と民衆生活……人間への思想……近代文化と唯物史觀……私有財産の文化的考察……人格の解放と社會主義……人間愛の宗教的根柢……近代自由主義の限界……社會的不安の諸原因……人間生活の二表現……文藝の民族的基調……智識階級の貧民と人道主義……文藝上の傳統主義……ユーモアと人間愛……原始愛に生くる藝術

◇三島章道氏新著◇ (著者自信ある佳作選集)

好評 感想文集若き泉

四六版最上製
美本全壹冊箱入
金壹圓八拾錢
送料十二錢

〔内容一班〕佛國ランス紀行……大磯の或る夕邊……若き旅のすまび……眼の印象……故國に歸りて日本の女……温情と言ふ事……冠を被つた筆跡……或る手紙をよみて……生活の興味慰安……エヌペラント……劇藝術に就いて……幼き弟……雜感……ある對話……年若き友……二つの戀愛對話……老人と青年の對話……夢の對語……外數編……

◇一條忠衛氏新著◇

(四六版最上製 金壹圓八拾錢 送料金十二錢)

再版 男女の性より觀たる社會問題

(時事新報批評)

性? ア、また彼れかと早合點しては不可ない兩性の差別に立脚して近時の社會問題に對する嚴密な合理的事實の考察であつて輕挑な分子はさらに含んでゐない今までの社會問題は經濟生活の上から主として取扱つてゐるか男女の性といふ人生の根本より研究して社會問題解決の新しい方法を見出すとの目的で書かれたのである先づ男女の性の本質を説いて人類の生存互助を論じ女子の參政權は其の要求を俟たず男子が兩性本位の代議制を實施する爲進んで協力すべく治警法の撤廢と共に發通罪をば刑法より削除すべしとの大膽なる意見を述べ女子の労働及職業に説き及ぼして最後に産兒制限に關し之れを文化の敵である正義の賊であると呼び新マルサス主義の避妊論に及び著者が高い人格者としての道徳觀が現はれて居る附録の古典に現はれたる男女道徳觀は原典の本文を引いて直接に味讀せしむる方法で整ひの解説よりは遙かに優れた試みである。

◇一條忠衛氏新著◇ (大好評を博して増刷出來)

新刊 人格主義の社會觀

四六版最上製
美本全一冊箱入
正價金貳圓
送料十二錢

〔日本及日本人批評〕人格主義を根柢として、社會改造・道徳法律參政權・労働倫理・東洋道徳政策・生命の保護・個人主義・家族制度の國際道徳・孟子の倫理説等に就き、縱横に論述して居る新人の著として確に一讀の價ひがある。時局に對する道徳批判としても頗る意義が深い。眞剣味の徹した書である。

東京市神田區 表神保町七

大 同 館 發 行

東京市神田區 表神保町七

東京市神田區 表神保町七

大 同 館 發 行

東京市神田區 表神保町七

◇文學博士富士川游一序
◇佛教大學教授梅原眞隆一文
文學士朝日融溪氏新著

七版 親鸞聖人の出現と思想

四六版最上製
美本全壹冊
正價壹圓八拾錢
送料十二錢

歴史は時代々の偉人と稱へらるゝ非凡人の記録であつた。彼等は自己を以て世を化せんとしてゐた。或は政權によつて或は軍權によつて或は金權によつてさうして互に交喰し相排擠し血みどろになつて喘いでゐる吾人はつくゞ非凡人文化に愛想が盡きた。嫉妬・排擠而して自己宣傳も見るも聞くも嫌だ一日も早く凡人文化の建設に急がなくてはならぬ早ければ早いだけ眞の平和は早く来るのだ而してこの凡人文化の歸結は我が親鸞聖人の思想によつて完しといつてよいのである。

◇渡部政盛氏新著◇ —(青年教育の慰安書)—

再版 異端者の悲しみと歡び

四六版最上製
美本全壹冊
正價金貳圓
送料十二錢

異端者の悲しみと歡び!! 本書は此の獨學者の孤獨者異端者が卅年の思想及生活を記録し披露したものである。家庭の遺囑と身體的缺陷とは早くも彼れを孤獨に導いた彼は孤獨ながらに伸びた。彼は學校歴と云ふものをば有たない檢定難と異端者の不取扱の中に變則的に其の自我を實現した而も彼は今日教育思想界學術界の一大野梁として社會的に認識せらる。沈痛なる「異端者獨學者の悲しみと歡び」とが青年の胸に孤獨の貴さと人間性の偉大と多大の慰安光明とを與へずにはおかないであらう。

大 同 館 行 發 圖 書 目 錄

意義ある生活を求める人士の一讀を望む!!

◇小林一郎氏新著◇ (最新刊發賣)

好評 激甚 勝曼經通解

四六判最上製美本
全壹冊三百餘頁
金貳圓參拾錢
送料十二錢

眞の佛教は所謂佛教徒の佛教ではない。活きた世間で人類の生活に大なる光明を與ふるものが眞の佛教である。勝曼は妙齡の一婦人であるが佛教の神髓を得て其の夫を初め周圍の人を盡く感化した。釋尊は深く之を嘆賞せられて阿難等の人々に之を普く世に宣傳すべく命ぜられた。眞の佛教を知らんとする者は勝曼經を讀まねばならぬ。聖徳太子が殊に力を用ゐて此經を講ぜられたのも道理である。著者は從來の傳統を離れた自由な立場から此の經を解釋した特に餘論三十章に大なる苦心を注いだ。是なら如何なる人にも分る苦だと信じて居る。意義ある生活を求める人々の一讀を望む。—(著者識)—

井上庄三譯 ●性と自我(若き婦人) 四六版箱入 正價金貳圓
最上製美本 送料十錢

若き婦人の種々な疑問解決し難い煩悶を懐き年打明けて相談する人、適當な指導を與へてくれる人を得ない爲に遂に其本性を誤つて如何しい道に迷ひ込み不道徳に生きて行く事は少なからずある事です。本書は實にかゝる婦人の相談相手として過を未然に防く爲に生れたものです。若き婦人達は一讀せば本書に依つて大に啓發される事と存じます切に御愛顧をおすめする。

東京市神田區 表神保町七
大 同 館 行 發
振替貯金口座
東京七八七番

◆奈良女子高等師範學校訓導 櫻井祐男氏新著

忽六版 生を教育に求めて

—(四六判最上製美本 金貳圓八拾錢 送料十二錢)—

東京神田 大同館發行

著者曰く私はよほどの愚昧と敬虔をもつてこの書を私の同伴の士たる天下無量の青年教育家諸君に捧げたいと思ふ。主人公飲一は人生の寂寥さに悶えながらも尙ほ己が生の尊美と優越に深き固き信據と信念を有ち教育を以て己が人生——生活と思料し其生活的顯現の爲に日夜の赤誠を致さうとしてゐる。而かもそこに總てを捨て、總てを獲ようとする矛盾権者のたゞ中に仁玉立ちに奮激してゐる彼が性格の強き弱きが思はれるであらう。その強き弱きから来る彼の憤懣と約略は解決は解決のままに未解決は未解決のままに必ずや讀者諸君の人生の上に何等かの示唆と感奮を齎すであらう——ことを疑はない。

内容目次一斑 (一)唯一途に吾れを愛すが故に……(二)紅き血と高き鼓動と……(三)「教育即生活」と信念するまで……(四)天の慈光地の靈湯……(五)雛を有つ母鷄を慕ひて……(六)子供よ、總ての絆を解いて平明に足……(七)哀れ子供の靴……(八)蓬合ふ如き悲雨……(九)彼の出勤を厭ひて……(一〇)疲れても尙ほ輝かしき遠かに柔和に自然に……(一一)生れざるもの悲哀……(一二)梧桐の蔭に立ちて……(一三)總てがない生活——美……(一四)温日を休ふ……(一五)先生太鼓の音が聞えます……(一六)唯悲壯と流る——尺八の音……(一七)唯一織いものは感し……(一八)啼かざる鳥……(一九)總ての制縛に堪へて……(二〇)奈良に來て唯一の財寶……(二一)同志よ來れ語らうに……(二二)同志よ來れ語らうに……(二三)同職の士よ何を見ん。

津田光造氏新著 四六判最上製 正價金貳圓 送料十二錢 美本四百頁

一宮尊徳の人格と現代

本書は「二宮尊徳の民主生活」の姉妹編として書いたものである。前のは翁の哲學若くは思想生活を主として紹介したのであるが今度のはあの哲學を生むに至つた翁の人格と生活との評價を試み、その現代との關係を論究しようとしたものである。過去の偉人に對して代名詞に「翁」とか「先生」とか云ふ敬稱を用ふる事は吾々の禮儀であり尊崇の表示であるにも拘らず、本書は必ずしもそれに據らず、時に之を用ひ、寧ろ「金次郎」とか「彼」とか云ふ平常の様式に出づる事が多かつたのは本書が單なる傳記でなく評傳であるからである。斯かる意味から私は今度の試みに於て一方に於て益々彼の聖人味を高調する事を努めたと同時に、又他方に於て出來る丈彼の人間味を發揮す「青年教師の懷疑」は一青年教師の現代の事を怠らない事にした。卷末に載せた「青年教師の懷疑」に於ける官僚の形式主義の教育と生活とに對する止み難き反抗の聲であり其感想の手記である彼が二宮尊徳の人格と生活とに接して如何なる感化を受けしかば偏に讀者の批判に待つ。

東京神田表神保町七 大同館發行

津田光造著 二宮尊徳の民主生活 全 金九十九錢 送料八十錢

◀ 音福大最の者驗受檢文 ▶

□東京高等師範學校教授文學士 **中村久四郎** 先序 **高橋與惣** 先生新著□

第五版 **文部省檢定 受檢用 東洋通史**

菊判最上製美本全壹冊紙數七百頁箱入 正價四圓八拾錢 郵稅拾六錢

類書中の白眉 本書は各種中等學校の教授細目を基礎として四編獨創の配案に據り上下五千餘年に互れる東洋史の全斑を盡く有機的連絡の下に最も平易正確懇切に通説し更に第一回より第十回に至る迄の文檢試驗問題を盡く明瞭に解答せるものと東洋史學の新説とを本文の間に分載せり。殊に本書の特色は從來の東洋史の最大缺點たる記述の難解無趣味冗漫繁錯等の通弊を補ひし外最近東洋外交史上の事件人物迄も努めて之を詳説したれば當に文檢受驗者の一寶庫たるのみならず各學校の參考書として勿論史學研究者世の識者も座右に供へて大いに便益なかるべからず。

本書 特色

文檢第一回より第十回に至る迄の東洋史問題を盡く明瞭に解答して便宜を計りたる事。桑原博士、市村博士を初め檢定委員の著述は勿論現今讀まれつゝある類書は盡く参照せり。

書良き可ふ備を本一非是に校學小

▲教授用と檢定受檢用とを兼備せる隨一の國史參考書▼
 國學院大學 講 師 **文學士岡部精一氏 高橋與惣氏共著**

三 文部省檢定 **大日本歴史** 版 試驗問題對照

●菊判クローズ製最上美本 紙數九百五拾頁 全壹冊 **金六圓八拾錢** 郵稅十六錢

本書は各種○校の國史科教授の參考に供し兼て各種の受檢準備に資せんが爲めに編纂せるものにして教授參考に供する方法としては現行文部省の中等學校及教小學校の授細目を基礎とし之れを適宜配合して編章を分ち國史の本幹を形成せる事實を精細に通説し又古今史學家の發表せし新説の穩健なるものは努めて之れを採録せり。試驗準備に資する方法としては第一回より第十回に至る文檢試驗問題を發問者の要求を推究探尋して一々精密に解釋し盡く各章末に添附せり。加ふるに編者多年の經驗と研究とを以て些の遺漏なきを期したれば諸學校に取りては繁簡適宜あらゆる重要史實を網羅して餘蘊なき最も完備せる國史參考書たるべく檢定受驗者殊に小學校教員諸氏に取りては教授用と受檢準備用とを兼備せる斯學隨一の羅針盤たるべし。

發行所 東京市神田區表神保町六番地 **大同館書店**
 振替貯金口座東京八七貳番

明治教育社編輯部編纂

(發行底止する所を知らず)

文 檢
受 驗 用

國民道德要領
附 實踐道德要領

四六判最上製美本
全壹册紙數五百頁
正 價 貳 圓
郵 稅 十 二 錢

好評
廿版

文檢試験の規定が改正になつて各科の受験者に「國民道德要領」が課せらるゝことになつた。本書は是等の受験者の爲に出来たもので材料の選擇と云ひ記述の體裁と云ひ總て受験者に都合よく出来て居る。主として委員の説をとり之に數十大家の説を參考として掲げてあるから此の書を見れば國民道德の要領は最も手取早く會得せられる。且つ文章が平易であるから讀むに骨が折れず。近來類書中の白眉である。——(帝國教育評)——

明治教育社編輯部編纂

(好評激甚初版賣切増刷出來)

文 檢
受 驗 用

教 育 大 意

四六判最上製美本
全壹册紙數五百頁
正 價 貳 圓 參 拾 錢
郵 稅 十 二 錢

好評
九版

本書は「國民道德要領」の姉妹編にして本社が特に合格者の秀才に執筆を依頼したるものなり。其特色は合格者の經驗を基礎として編述したる事内容豊富にして且つ受験者に都合よき様に記述したる事試験委員の説を隨所に擧げたる事問題解答を掲げ且つ類似問題を多く載せたる事文章の平易なる事等に在り。されば文檢教育科並に教育大意受験者は勿論各府縣小學校教員檢定受験者にとりても無二の好參考書なり。

最 新 刊 行
教育學術會編纂

四六判洋裝美本
全壹册約三百頁

金壹圓七拾錢
送料金十二錢

文 檢 教 育 大 意 問 題 解 答
國民道德要領問題解答

文檢各科受験者
必讀書發賣

「受験法と「國民道德要領」受験法の最良相談相手である。

教育學術會編纂

四六判最上紙
美本全壹册

正 價 金 貳 圓

送料十二錢

第八版

文 檢 教 育 勅 語 解 義
受 驗 用 詔 書

苟も本書を讀みし者にて文檢國民道德要領受験中の勅語及實踐道德の問題に對して一も解答し得ることなし。文體亦頗る平易如何なる人も文を解するに苦しむが如きことなし。受験者諸君の必讀をすむ。

大 同 館 發 行 圖 書 目 錄

東京帝國大學 文學部教授 宇野哲人先生新著

支那哲學史講話

菊判最上製美本
全壹册五百頁
正價金
貳圓五十錢
郵稅拾八錢

好評 廿版

本書は上古より清末に至る支那思想の大要を極めて平易に簡明に叙述して最もよく要領を盡くせるものなり。特に清朝に於ける學術思想の變遷が如何に暗々裏に革命を惹起するに至りしか支那の哲人の思想は如何なる傾向を帯ぶるか著者の最も留意せし所にして從來世に行はれたる支那哲學史の缺陷は本書に依りて補足せられて亦遺憾なし。本書は又附録として一々原文を掲げて直ちに堂奥を窺ふの便に供し亦著者の議論の根據あるを知らしむ要するに本書は初學者にも専門家にも座右に缺くべからざる絶好の新著なり。

教育學術會編纂 (文檢修身科・漢文科受驗者の福音) 最新刊

文 驗 論 語 解 義

四六判最上製美本
約六百餘頁箱入
正價金
貳圓八拾錢
送料十八錢

修身科漢文科の文檢試験には毎年論語から問題が出る問題は字句の解釋と思想の叙述とだがかかる要求に十分應じ得る参考書は從來見當らない。本書は此の要望に添はんとために編纂せられたものである。内容は(一)所題(二)字句講義(三)思想研究の三篇より成り思想研究の部には根本思想論・思想政治思想人性に關する思想・教育思想・宗教思想其他を闡明した最後に論語思想を現代の思想の上から縱横に批評を試みた文檢修身科・漢文科・教育科受驗者の是非一讀すべき良書である。

東京帝國大學文科助教授 文學博士 宇野哲人先生新著

四 書 講 義 大 學

菊判最上製美本
全壹册參百五拾頁
正價金貳圓
郵稅金十八錢

大學は儒教の目的を最も善く組織的に叙述せるものなりとは著者の創唱する所、此書は如上の見解によりて平易明晰に講述せるものにして冠するに大學要旨を以てし附するに索引及之と密接の關係ある幾多有益の研究を以てす。苟くも儒教の何物たるかを知らんと欲せば必ず此書を繕いて著者の圓熟せる講話を聞かざるべからず。

東京帝國大學文科助教授 文學博士 宇野哲人先生新著

五 版 四 書 講 義 中 庸

菊判最上製美本
全壹册壹百八拾頁
正價貳圓五拾錢
郵稅十八錢

儒教の目的は大學に備はり、儒教の根本義は中庸に明かである。かくて學庸の二書は經となり緯となり。互に相待つて儒教の眞相を傳ふ。著者は如上の見解を以て先に大學講義を著し今亦中庸講義を著す。大學に由て既に儒教の目的を明かにせる大方の士は請ふ更に中庸に就いて儒教哲理の眞面目を了せよ。尙附録教篇は皆直接間接に中庸の意義を明かにするものである。

文檢受驗者
必備の要書

東京 神田
大 同 館 藏 版

野村隈畔先生新著

(現代文化の哲學の姉妹編)

自我批判の哲學

正價金貳圓

郵稅金拾貳錢

四六判最上製英本
全壹册約六百頁

如何なる思索も如何なる哲學も自我の本性に徹底することより深遠なものはない。現時哲學界に於いて絶對自由の意志を説き、絶對價値を高調し或は生命の流動を主張するものありと雖も自我の具體的本性に徹底するものなきは現代の生活要求を裏切る根本的缺陷である。著者はカントの理性批判に慊らず、ベルグソンの直觀批判に満足せず自ら進んで獨特な自我批判の哲學を建設した。是れ現代の生活要求を根本的に確實ならしめ且つ凡らゆる思想主義を批判的に基礎づけるもの蓋し我國最新の哲學であらう。而して餘りに専門的でなく又常識的でなきは何人も必讀すべき哲學である。

現代生活のどん底
より生れたる新哲學

目次

一序論……二自由文化の建設……文化の方向の具體的考察……自由文化の建設……三自我の意
義……自我と純粹自己意欲……當爲性……文化性の考察……四自我の發展……文化考察の二方
面……當爲性の發展……自由性の發展……形而上性の發展……五結論……自由文化の内觀……
自由と愛……自我哲學と文化哲學……附錄三篇……

263.6

86

終

